

第 210 回 史跡散策の会

国沢さん復帰を兼ねての桜塚古墳群巡り

開催日：令和 7 年 12 月 19 日（金）

行程：阪急電鉄宝塚線岡町駅(10:30)～大石塚・小石塚古墳～伝統芸能館～原田神社～大塚古墳～御獅子塚古墳～南天平塚古墳～岡町駅＝服部天神駅～服部天神宮～服部住吉神社～かごの屋～服部天神駅にて解散(19:15)

参加者：（敬称略）岩井 松村 木村 高 野口 水野 横山 国沢 山口 葛野

以上 10 名

天候：ほぼ快晴

今回は大阪府の中核都市である豊中市に広がる、レアな桜塚古墳群を巡りました。元々は 36 カ所ありましたが、周辺の住宅開発から現在は 5 カ所が現存しています。

まずは岡町駅から西へ、ものの 5 分程度で大石塚(おおいしづか)・小石塚(こいしづか)古墳に到着です。前方後円墳が 2 つ南北に広がっており、2 つの古墳の間は公園となっております。大石塚古墳に隣接した、伝統芸能館には埴輪の棺が展示されていました。



一行は東方面に戻り、岡町商店街を通過後、原田神社に到着しました。参拝後、良い時間になったので、神社近くの老舗食堂「土手嘉」にて昼食です。水野支部長から、「ビールある？」の一言で、いきなり一次会モードになってしまう。チャンポン・かつ丼・中華そば・バッテラ・木の葉丼等々懐かしいメニューに会話が弾みました。



その後、岡町商店街から桜塚商店街を通過して、大塚古墳に到着です。こちらは大変大きな円墳にて、8m 登ったてっぺんからは、遠く金剛山や葛城山を見ることができました。すぐ南側に御獅子(おししづか)古墳がありました。外見からは丸く見えてましたが、こちらは前方後円墳でした。大変整備されていて、回りを支えている埴輪のレプリカが印象深かったです。





南へ豊中警察署を過ぎて、最終古墳の南天平塚(みなみてんびんつか)古墳に到着しました。この古墳は円墳にて、昔は回りが堀だったらしく、今は円形の道路が囲んでいました。ここでしばらく休息し、もと来た道に戻って、岡町駅に再度到着しました。



服部天神駅へ2駅移動し、まずは服部天満宮を参拝する。菅原道真公が、大宰府に下向するおりに、足が痛くなりここで祈願したところ、回復した言い伝えがあり、足の治癒にご利益があるとのこと、下駄の絵馬が奉納されていました。



近隣のモスバーガーでコーヒーを飲みながら時間を潰しましたが、暇を持て余し、木村さんの提案で服部住吉神社に出向きました。中々広い神社で、豊国神社の移築社屋や稲荷大明神・竜神社がありました。高さんから祭られているのは、「海の表・中・底の神様と神功皇后」との説明がありました。それから長い参道を南下し、途中ボヤ騒ぎで消防車との遭遇もありましたが、開店 15 分前に「かごの屋」に到着いたしました。



昼食とは違って、オーダーは全てスマホ経由です。横山副支部長からの注文を IT 担当の事務局長が、自らのスマホにインプットしてオーダーします。年老いても時代について行かないと、外食もできないこのご時世を悩んでいる様子もなく、各自「割り勘負け」しない様にと、大いに飲んで喰って盛り上がりました。最後は国沢さんの復帰挨拶にて、締めいただきました。皆様お疲れ様でした。



ナビゲーター：高さん 文責・写真：葛野